

資料 10. 【理事会資料】 ワイルドライフ・フォーラム誌

1. 編集体制

編集長：江成広斗

副編集長：岩井雪乃、角田裕志（2015年度編集長予定）

編集委員：草刈秀紀、丸山哲也、満尾世志人、目黒紀夫、富永光、打越綾子、山中正実

2. 2014年度発行スケジュール

19巻1号（春夏号） 2014年7月発刊済み

特集1：2014鳥獣保護法改正の展望と課題

特集2：生態系のアンダーユースと自然資源管理

19巻2号（秋冬号） 2015年2月発刊予定

特集1：野生生物と交通の最新科学（仮題）

特集2：動物園における種の保存（仮題）

※投稿原稿1件（2014年秋冬号における投稿原稿の受付は終了）

3. 発行部数及び価格の変更について

19巻1号から、発行部数を700部から550部に削減し、1冊の価格を500円から1000円へ引き上げた

※現状のデザイン+印刷費用の合計：422,950円

※発行部数を550とする場合、残部が20～30部程度と少ないことが課題

4. フォーラム誌の定期購読について

今年度開催した編集委員会では以下のような意見が出された

- 定期購読を増やせば、団体会員の勧誘に支障が出る可能性があり、結果的に学会としての利益が低下する可能性もあるのではないかと？
- 編集委員会の過去の議論において、フォーラム誌は利益を出すことを目的に発行するのではなく、会員勧誘の道具（入口）として位置付けることとしており、その方針とは異なるものである（本来であれば、雑誌価格を500円から1000円に値上げしたこともこの方針に反するものである。以前フォーラム誌は800円で販売しており、上記方

針のもとに 500 円に値下げした経緯がある)

- フォーラム誌は、Cinii に公開されており、研究機関などでは閲覧できる。そのため、定期購読の対象は研究機関ではない行政機関などに限られる。しかし、以前に各県庁に雑誌を無料配布し、購入を促したことはあるが、ほとんど反応はなかったという経緯があり、定期購読をはじめてもその効果は限定的であるように思われる。特に雑誌価格が倍になるのであれば、なおさらその効果は不明瞭である。
- 年 2 巻のみの発行で定期購読が成立するのかは不明である

5. バックナンバーの販売方法について

編集委員で在庫を管理し販売することは現実的ではなく、今までどおりに毎日学術フォーラムをお願いしたい旨の意見が出された。

6. 新たな編集委員の補充、編集委員の交代について

7. フォーラム誌の広告収入

19 巻 2 号において、グリーンコップ、一成、末松電子、地域環境計画、ファームエイジから広告掲載依頼あり

参考 広告掲載価格

A モノクロ半ページ 10000 円

B モノクロ 1 ページ 20000 円

C 裏表紙カラー 1 ページ 80000 円

※年間契約していただいた場合 (2 号分以上をまとめて契約) 10%引き